

# 調 査 研 究 結 果

種目	道 徳	発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名
観 点	教科書名等  項 目	17・教出	道徳723 道徳823 道徳923	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
取 扱 内 容	地域への興味関心	第1学年 伝えたい味「すまんじゅう作り」という伝統をどうして、私は残そうとしているのかを考えるような活動等を取り上げている。 第2学年 請戸の田植え踊りを扱い、伝統を守るのは何のためだろうかと考え、地域の伝統を守るためには自分は何ができるかを考える活動等を取り上げている。 第3学年 博多祇園山笠を扱い、これから先も守りたい郷土の良さは何であるかを考える活動等を取り上げている。		
	命の連続性	第1学年 人間として強く生きていくために必要なことは、どのようなことかや生きるために大切なことは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、お互いの気持ちや考えを伝え合うとき、どのような心構えが必要かを考える活動を取り上げている。 第2学年 精一杯生きるとはどのように生きることかや、命を大切にするととはどのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめや差別のない社会をつくるためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。 第3学年 「命を大切にする」とは、どのようなことかや生きていくということは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、差別や偏見のない社会を築いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動を取り上げている。		
	自己肯定感・自己有用感の醸成	第1学年 北海道赤平市のロケット開発を行う上松努さんを扱い、どうして無理と言われていたことを実現できたのかを考える活動等を取り上げている。 第2学年 全日本女子バレーボールチームの司令塔竹下佳江選手を扱い、短所を武器にすることができたのはなぜなのか考える活動等を取り上げている。 第3学年 歌舞伎の中村雀右衛門を扱い、芸の限りない道を歩み続けてきたものは何であったのかを考える活動等を取り上げている。		
	生活習慣 (ゲーム・スマホ)	第1学年 個人情報を取り扱う際を守るべきルールとマナーについて考える活動等を取り上げている。 第2学年 SNSのよいところはどこで、気をつけなければならないのはどこなのかを考える活動等を取り上げている。 第3学年 歩きスマホを規制するための法律は必要かを話し合い、どうして、歩きスマホがなくならないのかを考える活動等を取り上げている。		
	情報化への対応	第1学年 インターネットを扱い、ルールやマナーが必要なのは、どうしてかを話し合う活動を取り上げている。 第2学年 SNSを扱い、よりよく使っていくことで、どのようなことが得られるかを話し合う活動を取り上げている。 第3学年 スマートフォンや携帯電話を扱い、「歩きスマホ」を規制することは必要かを話し合う活動を取り上げている。		
	男女平等	第1学年 バレンタイン時期の教室のできごとを教材に扱い、付き合うとはどういったことなのかを考える活動等を取り上げている。 第2学年 学校生活の中での役割と性別との関係性を考えることで、男女平等について考える活動等を取り上げている。 第3学年 学校行事に取り組む中での出来事を題材に、同性・異性に関わらず、よい人間関係を築くことの大切さを考える活動等を取り上げ		

		ている。
	いじめ問題への対応	<p>第1学年 「ごめんねって言えたのに」という漫画を扱い、「いじり」と「いじめ」の違いを考える活動等を取り上げている。</p> <p>第2学年 人とは異なる容姿をもつ藤井さんの思いを通じて、差別やいじめをなくすために必要なことを考える活動等を取り上げている。</p> <p>第3学年 音楽祭に向けて練習を重ねる中でクラス内で起きたことを題材に誰に対しても公正・公平に接することの大切さを考える活動等を取り上げている。</p>
内容の構成・排列、分量等	教材	<p>第1学年 3 5 (読み物3 3、その他2)</p> <p>第2学年 3 5 (読み物3 4、その他1)</p> <p>第3学年 3 5 (読み物3 2、コラム2、その他1)</p>
	数	<p>第1学年 5 (読み物5)</p> <p>第2学年 4 (読み物4)</p> <p>第3学年 4 (読み物4)</p>
	議論を行い自分との関わりで考察できる工夫	各学年に、異なる立場からの考えを取り上げた教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。「やってみよう」では役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を取り入れ、道徳的諸価値の理解を生活の中での行為や習慣に結びつける工夫されている。
使用上の配慮等	家庭との架け橋となる工夫	各学年に、道徳の学習と家庭をつなぐ「家の人から」を配置し、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるようになっている。
	地域の人々との連携や地域の行事との関連を図った学習活動の充実	全国のさまざまな地域とかかわりのある教材を取り上げ、身近な地域や我が国への理解と愛着を深めることにつながっている。また、世界の国々を取り上げた教材も扱い、多様な文化を理解する態度を育むことができるように工夫されている。
	自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見つめたりする工夫	各学年「道徳の学びを記録しよう」や課題や目標を記入する「どんな〇年生になりたいか」、「そして、未来へ・・・」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。
	教材ごとのねらいやテーマの掲載状況	教材ごとに学習テーマ(内容項目)を色分けして掲載している。また、見通しをもって授業に取り組めるよう、教材ごとに問いかけを工夫している。
	教材ごとの展開における発問の掲載状況	教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入ることができるようにしている。教材末尾には「学びの道しるべ」を設け、物事を自分に引きつけて考えたり、多面的・多角的に考える助けとなる発問の工夫がある。
その他	その他の特色	